

平成26年

2/21(金) - 3/23(日)

「ふるさと知事ネットワークによる美術館交流事業」

# 棟方志功

生誕二一〇年記念

青森県立美術館 棟方志功記念館コレクションによる

休館日●3/3(月)

開館時間●午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)

料金●一般・大学生200円

※30名以上の団体は2割引

※高校生以下、70歳以上、障害者手帳等をお持ちの方は無料

主催●福井県立美術館 協力●青森県立美術館 棟方志功記念館

担当学芸員によるギャラリートーク 3/2(日)、3/9(日) 各午後2時〜展示室にて ※要本展チケット

同時開催「生誕100年記念展 小野忠弘の軌跡」 ※本展観覧券にてご覧いただけます

わだばゴッホになる



棟方志功 1940.2.6



門世の柵 (1968年) 棟方志功記念館蔵

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1

TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459

<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>





東北経鬼門譜(1937年)棟方志功記念館蔵



二菩薩釈迦十大弟子(1939年)棟方志功記念館蔵



①

福井で35年ぶりの開催

1903年青森に生まれた棟方志功は、18歳の時、北斗社の画家\*小野忠明にゴッホの「ひまわり」の複製画を見せてもらい深く感動したことから、「わだばゴッホになる」と画家になることを決意します。同氏より油絵の道具一式を譲り受けて油絵を描きはじめますが、その後版画と出会い、自ら「板画」と命名した木版による独自の表現を追求していきます。

仏教や同時代の詩・物語などを題材にした既存の版画の概念を覆す独特のエネルギーに満ちた板画は、55年のサンパウロ・ビエンナーレで版画部門最高賞を、翌年のヴェネツィア・ビエンナーレで国際版画大賞を受賞するなど、国際的な評価を確立。その後も75年に72歳で亡くなるまで旺盛な創作活動を続け、板画のほかに油彩画、倭画など多くの作品をのこしました。

本展では、「二菩薩釈迦十大弟子」「湧然する女者達々」「宇宙頌」「華狩頌」など棟方板画の代表作を中心に、初期の油彩画「雪国風景図」や大作「東北経鬼門譜」、独特の表現による美人画「門世の柵」、最大級の倭画「鷲栖図」など、青森県立美術館と棟方志功記念館が所蔵する貴重な作品の数々を展示し、棟方志功の創作の軌跡と棟方芸術の魅力をひろく紹介します。

\*小野忠明は小野忠弘(福井を拠点に国際的に活躍した現代美術作家)の実兄



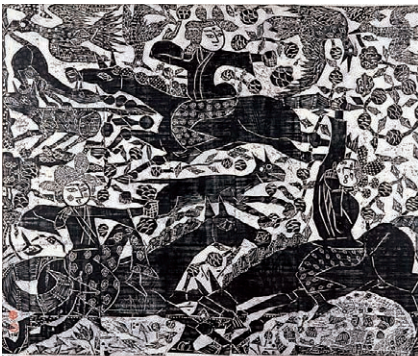
②



④



⑤



③



⑥

- ①棟方志功(1942年頃)
- ②雪国風景図(1924年)青森県立美術館蔵
- ③華狩頌(1954年)棟方志功記念館寄託
- ④御吉祥大辨財天御妃尊像図(1966年)青森県立美術館蔵
- ⑤南北の柵(宇宙頌)(1949年)(1953年改刻)棟方志功記念館寄託
- ⑥鷲栖図(1971年)青森県立美術館蔵



【自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク】

地勢の異なる地方の13県(青森、山形、石川、福井、山梨、長野、三重、奈良、鳥取、島根、高知、熊本、宮崎)が、新しいふるさとの創造に向けて、「ローカル・アンド・ローカル」の発想の下、人や地域の新しいネットワークをつくり、地方自治の新しいモデルをつくるための活動を行っています。

交通のご案内

- 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩約8分
- コミュニティバスすまいる/JR福井駅西口「福井駅北」のりばより、田原・文京方面線約10分「県立美術館前」下車
- 京福バス/JR福井駅西口10番のりばより、福井総合病院線(26系統)約10分「藤島高校前」下車(※日曜・祝日は運休)
- 車・タクシー/JR福井駅より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分

※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459 <http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>